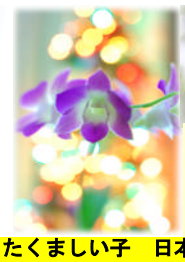
学校だより

アビラ



第30号
(通算102号)

平成27(2015)年7月10日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像　よく考える子　思いやりのある子　進んでやりぬく子　強くたくましい子　日本もベネズエラもよく知る子

写真上段左から：①朝の集いでスタート　②ホテルで朝食　③ホテルの庭で　④コロのホテル　⑤今日１日はペティ市のバスにお世話になります

写真中段左から：⑥農家の台所で　⑦アレパ作りを教えてもらう　⑧自分たちもやってみる　⑨アレパをかまどで焼く　⑩みんなで作った昼食

写真下段左より：⑪農家のテラスでみんなで昼食　⑫鍾乳洞探検に出発　⑬鍾乳洞の中で　⑭大きな鍾乳洞の中で　⑮プント・フィホのホテル

コロ、クリマグアに２泊３日で修学旅行に行ってきました！ 観光旅行ではない、体験と感動、出会いとふれあいにあふれた修学旅行（宿泊体験学習）のようすをお知らせしましょう！ その２

【第二日目　７月９日（木）】修学旅行の２日目です。朝６時に起床して、朝の集いから始動です。朝の風は心地よく、頭も体も、そして心までもが目覚めました。今日の日程は盛りだくさんで、実に刺激的です。ＪＩＣＡ隊員の柚原さんの任地、ペティ市のクリマグア地区を訪問しました。コロから１時間半も山の中に入ったところです。蒸し暑いコロと違って、空気はひんやり、風は緑です。最初に柚原さんが懇意にしている農家を訪ね、ここでクリマグアの農家の暮らしを見学し、いよいよ昼食作りの始まりです。茹でたトウモロコシを手動の絞り器でペースト状にし、手でこねて円盤状にしていきます。最初は戸惑っていた子どもたちも徐々に慣れ、見事にアレパを作り上げました。サラダ作りも子どもたちがしました。そしてついに、手作りの昼食が完成しました。農家のテラスで、ワイワイガヤガヤと楽しく、美味しくいただきました。お腹がふくらんだら次は冒険への出発です。雨でぬかるんだ道を鍾乳洞へと進みます。完全に冒険家気分です。鍾乳洞はどこまでも続く迷路です。全員が懐中電灯の灯りを消すと、これ以上の真っ暗はないという世界ができあがりました。それは実に神秘的な原始の体験でした。たくさんの体験、出会い、ふれあいにあふれた宝石のような一日でした。村の人々の優しさが心に沁みた最高の一日のこと、忘れません。

【第三日目　７月10日（金）】修学旅行３日目、最終日です。５時半起床、今日は早朝の飛行便です。空港で家族への土産を買い、帰路につきました。２泊３日の修学旅行を振り返ってみたとき、多くの方々の支援・協力のお陰で、得がたい体験やふれあいをすることができました。ただただ感謝です。ベネズエラがまた好きになりました。（←ﾍﾞｽﾄ･ｼｮｯﾄ　農家の人々と）